

令和2年9月市議会定例会 一般質問

個別質問答弁書

質問第2号

金井 清一

議員

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	2	号	質問議員	金井 清一	議員	担当課	観光課
質問要旨				答 弁			
1 市政についての質問				歴史と伝統に彩られ、良質な泉質を誇る市内温泉地には、例年、多くの観光客が訪れており、当市の観光振興には欠かすことのできない貴重な地域資源であると認識しています。			
(1) 上田市の観光を代表する温泉地域の新型コロナウイルス感染症対策について				市内温泉地の旅館・ホテルにあっては、昨年10月の東日本台風の影響により、インフラやライフラインが寸断されたことで休業を余儀なくされ、大規模な宿泊キャンセルに見舞われましたが、今年に入り、徐々に宿泊客も戻りつつあり復興の兆しが見え始めていました。			
ア 新型コロナウイルス感染症の拡大により温泉地域の観光客が減少等をする中で、どのような対応をしてきたか。また、今後の対応策はどうか。				しかしながら、その後の新型コロナウイルス感染症の拡大による大幅な観光需要の落ち込みは、市内宿泊事業者に、いまだかつてない甚大な影響を及ぼし、各事業者は極めて厳しい経営を強いられている現状にあります。			
				このため、観光課としましては、別所温泉、鹿教湯温泉をはじめ市内温泉地の各旅館組合の皆様との懇談会などを通して、宿泊事業者がおかれた厳しい実			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	2	号	質問議員	金井 清一	議員	担当課	観光課
質問要旨				答 弁			
				<p>情や、行政に求める支援・対策など様々なご意見やご要望の把握に努めてきました。</p>			
				<p>各旅館組合の皆様からは、「国の緊急事態宣言や県の休業要請などにより売上が激減し、このままでは事業継続が難しい。」、また、「旅館・ホテルを一時的に休業しても、固定資産税や光熱水費などの固定費は毎月発生し、売上がないなかで支払いが非常に厳しい。」、併せて、「事業を継続していくためのまとまった金額を、少しでも早く支援してほしい。」など、窮状が訴えられ、早急な支援の必要性を痛感したところです。</p>			
				<p>また、市長に対して、市内の旅館組合連名による「新型コロナウイルス感染症対策に関する陳情」が提出されており、行政による早急な支援についての要請も頂戴しています。</p>			
				<p>観光課では、こうした皆様からの声を踏まえ、市内温泉地の旅館・ホテルを</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	2	号	質問議員	金井 清一	議員	担当課	観光課
質問要旨				答 弁			
				<p>含む宿泊事業者の事業継続を下支えしていくため、国や県が実施する支援策なども注視しながら、適時、市独自の支援策を講じてきました。</p>			
				<p>まず、4月から5月にかけて国の緊急事態宣言が出されたことによる往來の自粛や県の休業要請などにより、市内宿泊施設では、ほぼ全ての宿泊予約がキャンセルとなり、未だかつて経験したことがない程の大きな打撃を受けています。その対策の一つとして、5月臨時会において、売上が前年対比50%以上減少している旅館・ホテル等の事業者を対象に、上限額を300万円とした上で、宿泊定員に7,500円を乗じた支援金の支給を認めていただき、現在9割程度の受付を終了させています。</p>			
				<p>次に、6月19日以降、県域をまたぐ移動が全面解除となり経済活動が再開されましたが、市内の観光需要は期待したほどの回復には至らず、宿泊事業者にとっては依然として厳しい経営状況が続いていました。そのため、懇談会や陳情などで要望いただいた「月々の固定費への支援」として、7月臨時会にお</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	2	号	質問議員	金井 清一	議員	担当課	観光課
質問要旨				答 弁			
				<p>いて、温泉使用料を負担している宿泊事業者を対象に、6カ月分の温泉使用料相当額の支援金の支給を認めていただき、現在ほぼすべての受付を終了している状況です。</p>			
				<p>併せて、市内における旅行需要の喚起を図り、宿泊業をはじめ市内観光関連産業の支援に繋げるため、国の「Go To トラベルキャンペーン」などを活用し、市民の皆様に地元の旅館やホテルなどを積極的に利用していただけるよう、旅館組合や観光協会と連携したキャンペーンを実施しています。</p>			
				<p>また、経済的支援や観光需要の喚起に向けた取組みだけではなく、コロナ禍においても、宿泊客や従業員の健康と安全を考慮し、継続的に事業運営が行えるよう、一般社団法人 信州上田観光協会と連携し、7月から複数回にわたり「新たな生活様式」に対応した宿泊施設向けの感染防止対策セミナーも開催しているところです。</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	2	号	質問議員	金井 清一	議員	担当課	観光課
質問要旨				答 弁			
				<p>更に、新型コロナウイルス感染症の影響は、地域における観光産業の牽引役として活動してきた各観光協会や旅館組合にもおよび、各観光協会等では、長引く観光需要の低迷により、市内旅館・ホテルなど観光関連事業者の売上が大きく減少したことで会費等の収入が見込めず、事業運営を継続することが困難な状況となっています。</p>			
				<p>このため、今定例会市議会の初日に、会費等の主な収入が見込めなくなっている市内温泉地等の観光協会及び旅館組合を対象に、4月から9月までの6カ月分の会費等相当額の支援金の支給を認めていただいたことから、速やかな支給事務を進めているところです。</p>			
				<p>最後に、今後の対応策については、未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、市内外の感染状況は刻々と変化し、今後の情勢を予測することは困難ではありますが、国や県の動向を注視するとともに、宿泊事業者の皆様の声をしっかりとお聞きし、状況に即した効果的な新たな支援策を適時講じて</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	2	号	質問議員	金井 清一	議員	担当課	生涯学習・文化財課
質問要旨				答 弁			
1 市政についての質問				<p>日本遺産の認定は、平成27年度から始まり、今回が最後の認定となり、最終の認定数は全国で104件となりました。長野県内は、地域型での認定となった上田市と千曲市を含め4件となります。</p> <p>上田市の日本遺産は、テーマを「レイラインがつなぐ『太陽と大地の聖地』～龍と生きるまち 信州上田・塩田平～」とし、塩田平を中心に、信濃国分寺周辺、丸子温泉郷を含めたエリアに所在する35件の文化財を中心としたストーリーです。</p> <p>市民の皆さんはもちろんのこと、国内外の方々に「塩田平を訪ねてみたい」と思っただけけるよう、例えば、夏至と冬至の日に生島足島神社で体験することができる、朝陽や夕陽が鳥居と重なる神秘的な光景など、文化財の魅力だけでなく、観光的な要素も盛り込んだストーリーとして、文化庁に申請しました。</p>			
(2) 日本遺産について							
ア 認定ストーリーはどのような内容か。							
また、具体的な特徴は何か。							

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	2	号	質問議員	金井 清一	議員	担当課	生涯学習・文化財課
質問要旨				答 弁			
				<p>今回の申請は、令和元年度に続き2回目となります。</p>			
				<p>初年度の申請では、市域全体を対象とした「蚕都」と「映画のまち」に関連する文化財でストーリーをまとめましたが、残念ながら認定には至りませんでした。</p>			
				<p>今回の申請では、この点を踏まえて塩田平周辺で見ることできる、神社仏閣や雨乞いの祭りといった「祈りのかたち」を題材に、舞台エリアをコンパクトにして、周遊のしやすさ等もストーリーに反映させた結果、認定されることができました。</p>			
				<p>ストーリーの舞台である、信濃国分寺から生島足島神社、泥宮、別所温泉を通る夏至のレイライン周辺は、国宝の安楽寺木造八角三重塔をはじめ、建造物や仏像などの重要文化財は合計10件、そして国の選択無形民俗文化財である「岳の幟」や「信濃国分寺の蘇民将来符頒布習俗」等、全国でも稀にみる貴重な文化財が数多く残されている地域です。</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	2	号	質問議員	金井 清一	議員	担当課	生涯学習・文化財課
質問要旨				答 弁			
				<p>ストーリーは、上田市の特徴である、雨が少ない気候が育んできた文化を中心にまとめました。信濃国に唯一の国分寺が、この上田の地に置かれたこと、そして、鎌倉北条氏の一派が、安住の地として塩田を選んだのは、こうした上田盆地特有の気候による「暮らしやすさ」が大きな理由だと言われています。</p> <p>また、鎌倉時代に、「信州の学海」として、多くの僧が塩田の寺院に学びに訪れたのは、別所温泉で一日の修練の疲れを癒すことができたことも大きな魅力だったからとも考えられます。</p> <p>ストーリーの前段では、雨が少ない気候と別所温泉の存在が、上田に早くから仏教文化を开花させ、多くの貴重な文化財が今に伝えられたことを紹介しています。</p> <p>そして、ストーリーの中段では、古くから水を確保するために「ため池」を作り、独鈷山や夫神岳の「龍神」に雨乞いをしてきました。このように「龍と生きるまち」の人々の暮らしに見られる、様々な「祈りのかたち」を取り上げ、その魅力について発信しています。</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	2	号	質問議員	金井 清一	議員	担当課	生涯学習・文化財課
質問要旨				答 弁			
				<p>日本遺産は、これまで保護に重点を置いてきた文化財行政における「大きな転換点」として創設された制度です。</p>			
				<p>この制度は、対象エリアの文化や伝統を語る「ストーリー」を日本遺産として認定し、地域活性化や観光資源として有効活用することで、地域住民がその価値を理解し、将来まで大切に保存していこうとする機運の醸成を目的としています。</p>			
				<p>上田市としても、今回の日本遺産認定を契機に、認定エリアのみならず、市内の身近な文化財を地域の誇りとして活用することで、地域の皆さんが、保存活用の主体的な担い手となり、観光振興や地域活性化の素材として、文化財を守り、活用しようという取組に発展することを、大いに期待しているところで</p>			
				<p>す。</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	2	号	質問議員	金井 清一	議員	担当課	交流文化スポーツ課
質問要旨				答 弁			
1 市政についての質問				<p>「日本遺産」の活用にあたっては、認定の趣旨であります、文化財を活用した観光拠点としての更なる磨き上げを図るとともに、地域の歴史的魅力や特色を通じて、上田市のストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を、地域住民が主体となって、総合的に活用し、国内外に戦略的に発信することを目的に、地域振興につながる機運をより一層高めていきたいと考えているところです。</p>			
(2) 日本遺産について							
イ 日本遺産に関連した事業について、どのように進めていくか。				<p>そのため、今回認定されました「日本遺産」を活用した事業を推進するにあたり、文化庁の補助金交付要綱を踏まえ、市を含めた関係団体による「上田市日本遺産推進協議会」を設立し、民間との協働による観光振興や地域の活性化、シビックプライドの醸成を目指しています。</p>			
				<p>なお、推進協議会のメンバーは、長野県上田地域振興局、長野県教育委員会、上田市自治会連合会、上田市文化財保護審議会、塩田平文化財保護協会、上田市、上田市教育委員会とし、この9月10日に協議会を設立する予定で準</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	2	号	質問議員	金井 清一	議員	担当課	交流文化スポーツ課
質問要旨				答 弁			
				備を進めています。			
				<p>また、推進協議会の外部組織として、文化財活用部会、観光振興部会及び情報発信部会の3部会を設け、部会ごとに日本遺産を活用した事業の検討などを行い、協議会への提案や事業実施をしていく形態を考えており、民間の部会員については、市内の関係団体や事業者に依頼したいと考えています。</p>			
				<p>庁内体制の充実については、7月に「日本遺産庁内プロジェクトチーム」を組織しました。事務局を政策企画部交流文化スポーツ課におき、関係課との調整を図り、日本遺産を活用した事業を推進していきたいと考えています。</p>			
				<p>今後、取り組んでいきます具体的な事業については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーの構成文化財を巡るルートとガイダンス施設等の整備 ・有償ガイドの育成と事業化による収益確保 ・身近な文化財の観光資源としての価値の認識と活用 			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	2	号	質問議員	金井 清一	議員	担当課	交流文化スポーツ課
質問要旨				答 弁			
				<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページや動画作成等による情報発信 ・ 観光プロモーション事業の実施 ・ 外国籍住民と協働で行う草の根の情報発信の取組 ・ 市民向けの周知啓発事業の実施 ・ 旅行商品の開発 			
				<p>といった事業について、文化庁の日本遺産補助メニューなどを最大限活用し、事業を進めていきます。</p>			
				<p>加えて、今回の日本遺産認定は、塩田地域のみならず、市民の皆様にも、改めて身近な文化財の魅力を知っていただく絶好の機会と捉え、市内の文化財の魅力発信事業、また、日本遺産を小中学校の総合学習に生かすことができる取組などを検討したいと考えています。コロナ禍により観光客の増加が見込めない中、こうした市民向けの取組については、シビックプライドの醸成という点からも重点的に進めていきます。</p>			

